



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/36号 2021/6/30

◆県理数科課題研究発表大会 優秀賞

6月16日(水)、第15回長崎県理数科高等学校課題研究発表大会が行われました。本校からは3年生の2班が口頭発表を行い、ともに優秀賞を受賞しました。

参観した数理探究科の2年生からは、「身近な現象の中から問題を見つけ、仮説を立てて検証していく過程が大変参考になった」「自分の研究をわかりやすく伝えるにはどうしたらよいかの参考になった」といった感想が多く聞かれました。

優秀賞を受賞した2班は、8月に福岡県で開催される中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会の誌上発表部門に出場します。次は、2年生の番です。先輩を越える研究になることを期待しています。

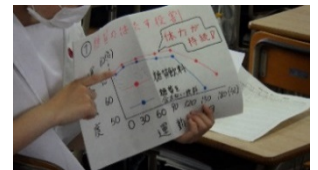


◆1年:個人リサーチ発表会

6月17日(木)、4月から取り組んできた個人リサーチの発表会を行いました。これは2学期から取り組む「ミニ課題探究」のテーマ設定に役立てることを目的に行うもので、各自が調べた内容を紙芝居風に5枚の紙でプレゼンし合うといった企画です。

「糖質制限ダイエットのメリットとデメリット」や「睡眠時間とその効果」などの身近なテーマから「ゲーム理論」や「宇宙には空気がないのになぜ太陽は燃えているのか?」などの科学的テーマなど、様々な内容の発表がありました。発表者は文字の大きさや色使いを工夫して、聞き手に伝わりやすい発表を心掛けながらプレゼンを行いました。

今回の経験を2学期からのミニ課題探究に生かして欲しいと思います。



◆2年普通科:地域探究講座 ～長崎街道インフラさるく in 大村～

6月16日(水)、「長崎街道インフラさるく in 大村」を実施しました。これは本校と鎮西学院大学のコラボ事業で、地域にあるインフラを通して、自らを取り巻く社会や環境を知り、それらとの主体的なかかわり方を学ぶことを目的としたものです。第3回目の今回は、鎮西学院大学の礪本光広教授、吉野浩司教授のご指導のもと、大村市北部の松原地区のインフラを中心としたフィールドワークを行いました。

午後は学校に戻り、班ごとに午前中の成果を4コマのプレゼン形式で発表しました。

すぐ近くにあるにもかかわらず、今回のフィールドワークで初めて訪れたところもあり、地域の歴史や文化などさまざまなものを見つめなおすいい機会になりました。



◆2年普通科:探究力向上講座

6月16日(水)、「探究力向上講座」を開催しました。これは、データの収集や分析、テーマ設定から検証についての講座を通じ、課題探究の進め方に対する理解を深めることを目的としたものです。

本校の課題である「データ分析」や「テーマ設定」についての講座とあって、どの講座も生徒の満足度は大変高いものとなりました。



	講座	講師
1	統計データ処理講座	県統計課 吉田敦史氏・田崎千秋氏
2	データ処理とアンケート	活水女子大学・看護学部 岩瀬貴子氏
3	実践:課題探究の進め方	長崎西高校 長嶋哲也氏
4	写真から課題探究へ	長崎明誠高校 土橋敬一氏
5	課題探究の発想の広げ方	長崎南高校 横田昌章氏
6	野外調査の仕方	アメリカ自然史RA 安永智秀氏
7	統計学は最強の学問?	長崎県立大学 斎藤正也氏 (Zoom)